

まず神の国と神の義を求めなさい。
 そうすれば、これらのものはすべて、

それに加えて与えられます。

マタイの福音書 6章 33節

6章の前半でイエス様は3つの行為「施し」「祈り」「断食」を扱います。これらは、当時のユダヤ人の宗教生活において重視されていたことで、特にパリサイ人はこれを実行することを強く説き、自らもその実践を努力していました。彼らがそれを行った理由は、自分がどれほど信仰深い者であるかを人々に知らしめ、人の評価を得るためで、純粹に実行しようという敬虔さや誠実さは欠けていました。

そうした状況を踏まえて、イエス様は「人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい」（1節）と仰いました。

イエス様がここで人々に問うたのは信仰者の動機です。あなたは何を目的として信仰生活を送っているのか、というのです。あなたの価値観がどこにあるのか、という問い掛けでもあります。イエス様は、キリスト者の価値観はこの世（人の評価やこの世の富を重んじるのではなく、神を第一とし神の国を求めることだと語ります。

この世のものは失われやすく、いつか必ず消え去ります。どんなにたくさん持っていて、どんなに大事にしても、どんなに愛しても、この世のものを永遠に持ち続けることは誰もで

きません。それに対して、天の御国と神ご自身は永遠に失われなから、そこにあなたの望みを置き、神の国と神の義を第一としなさいとイエス様は仰るのです。

この世の生活を無視して浮世離れした生き方を奨めているわけではありません。神を第一として世を生きているのか、神よりも世が第一なのか、あなたはどちらを向いているのか何を重んじているのかと問われるのです。

パリサイ人が引き合いに出されているのは、表向きは神を第一とするというフリをしているが、実は心の中では世が第一になってしまいうことへの警戒です。それは神を自分に都合良く利用することで、主はそれを「偽善」と言いました。キリスト者が陥りやすい危険であり、他人事としてはいけないことを肝に銘じたいものです。（泰）

■召天者記念礼拝・墓地礼拝について

今年の召天者記念礼拝もコロナ禍で集まることに制限を設けなければなりません。

ご理解とご協力をお願い致します。

ご不明な点は牧師までお問い合わせください。

*召天者記念礼拝

7月4日(日)

第一礼拝 9時～10時

第二礼拝 11時～12時

・定員を設けての事前予約制です。

・インターネットに対応できる方は、そちらをご利用ください。関わる方々を優先したいと思います。

・墓地礼拝 今年も中止です。

ただし、7月4日(日)午後に教会墓地の納骨堂を開放し、堂内に入ることができるようになります。ご希望の方は、各自で現地へお出かけください。申し込みは不要。

・納骨式

7月4日(日) 午後に多磨墓地にて行います。

【報告 消息】

【本日の礼拝奉仕者】

礼拝祈祷 林修養生

聖書朗読 司会者

献金奉仕 林修養生

献金祈祷 司会者

報告 林修養生

配信 林修養生